いわむろ村
発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K.K
No.118

岩室村の人口
（1月1日現在）

男……	4,873人	（－ 9）
女……	4,887人	（－ 4）
計……	9,160人	（－13）
世帯数……	2,048世帯	（ ― ）

（住民基本台帳による）

成人式の後で行なわれたパネルデスカッションから、新成人の力強い声を収録しましたので、その要旨を御紹介します。代表の発言に続いて参会の新成人から活発な意見が述べられ、助言者からも明快なお話がありましたが、紙面の都合で残念ながら割愛させていただきました。

助言者、瀬賀進（岩中）亀山末松（岩小）岡真須徳（和小）松本嵩（間小）の各学校長。司会、大岩修作公民館長。アシスタント、先輩の鷲沢栄子さん。

（文責……編集部）

新農業は若者の手で

原　大岩　富男

日本の経済がものすごい勢で成長する中で、農業だけが発育の遅れた子供のように、過保護のまま甘やかされてきた。他産業は何年か前に成人し、自分の力で苦しみと戦っている。

農業が今直面している問題は、日本農業が大人になるためには、どうしても越えなければならない関門だと思う。

私たち若き農業者は「新しい農業は俺たちがするんだ」という自負を以て、努力していきたいと思う。

団結で意欲を湧かそう

和納　伊藤　克代

わが国の農業情勢は、今後一段ときびしくなるだろうといわれている。

機械化が進んで、すべての面で昔より楽になったといわれるが、果して割に合った農業（企業）といえるのだろうか。

私たち若い後継者は、団結で意欲を湧立たせ、新技術の勉強で不安を除きながら、情報化時代に打ち勝つ農業をめざしたい。

対人関係と責任感

西中　堀部　英子

入社後約三年。人を理解しなければ自分もまた理解してもらえないという、人間関係のむずかしさが身にしみてわかってきた。

またどんな職種でも、自分の仕事に責任を持つことが大切で、例えば社外に出る書類にミスがあれば、自分だけでなく会社全体の責任となるのである。

責任感は、よい人間関係の基盤だと思う。

公害は欲望の足跡

和納　樋口志保子

人類は、それ自体大自然の一部であることを忘れ、自然との調和を怠り自滅への道を辿っているといわれている。人間の生存条件すら脅やかす開発という営みは、人間のために役立っているのか？公害は自然の法則を無視した人間たちのあくなき欲望の足跡か？

私たちは常に足元を見つめ、何をなすべきかを真剣に考えていくことが、先ず大切ではないだろうか。

恋愛と結婚

和納　五十嵐幹郎

早く結婚して子供をつくろう。いや結婚前に自由に熱烈な恋愛を経験したい。どちらもほんとの気持だ。

結婚には、家とか経済とかの要素が加わる。結婚を前提にしたら真の恋愛などできないのでなかろうか。むろん恋愛が結婚に結びつくにこしたことはない。

結婚前にやらねばならないことが沢山ある。今はまだ面倒なことを考えずに、青春を楽しみたいというところが正直な気持である。

自分が先ず幸福に

橋本　後藤栄代子

「恋愛～結婚」この言葉は私たち若者にとって意味深い言葉である。

結婚は女性の永久就職とよくいわれるが、一生の伴侶を決めるのだから、華やかな空想の世界でなく、周囲から自然の形で祝福される結婚が最良だと思う。

結婚への過程は違っても幸福を願う気持は一つ。自分が先ず幸福になってこそ周囲を幸福にすることができるのではないだろうか。

よく働きよく遊ぼう

和納　長谷川幸子

最近のレジャーは余りにも多種多様で、それだけに問題も多いようだ。一般に個人的なものと社会的なものがあり、スポーツもよし旅行もまたよしだが、要はその利用の仕方に問題があるようである。

生活の向上や人間性を豊かにするために役立たせ、しかもやたらに金をかけずに自分の力の範囲内で楽しむならば、レジャーのもつ意義も変ってくると思う。

三無主義を追放しよう

間瀬　水沢　文子

働きつつ学んだ四年間。大人の世界の複雑さ酬さにくじけそうになりながらもやればできるという自信をつかみとった。私にとって貴重な四年間であった。

いま「三無主義」（無気力・無関心・無責任）という言葉が流行しているが、私たち青年が、恥かしくない大人になる努力をして、これ以上こんな言葉を流行させないようにしよう。

有言実行をモットーに

久保田　阿部　宏

成人式が恐ろしく感じられた。それ相応の人格をまだ持っていないから。

しかし、新米ながら職場では大人扱いだ。結局、仕事に精通することが、ただ一筋の大人への道なのだ。

エネルギッシュな若者であることを自認し、自分で考え、言い、実行することを、人生のモットーにして行きたいと思う。

心の広い人間に

石瀬　右近　桂子

二十才。私はこの言葉が私自身のものとなった今、「いい加減ではいけないんだぞ」と一言強く感じた。

本当の意味の楽しさも苦しさも、そして喜びもこれからの日々に、自分自身でつくっていくものであり、他人との戦いでなく、自分との戦いであることを忘れずに他人を愛することのできる、心の広い人間になりたいと思う。